

函館市ノーマラーゼーション推進事業

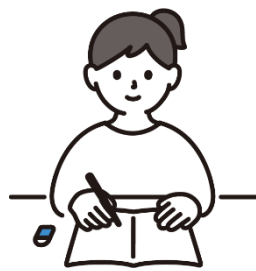
ノーマリー教室



社会福祉法人 函館市社会福祉協議会

1. はじめに

ーノーマリー教室とはー



(1) 目的

函館市社会福祉協議会では、障がい者や高齢者などのハンディキャップを持つ人々が、健常者と共に地域社会の中で生きることが正常であるというノーマライゼーションの理念を理解するとともに、体験学習などを通して、社会福祉についての関心や理念を深めることを目的としてノーマリー教室を実施しています。

(2) 開催場所 開催団体

開催場所：函館市総合福祉センター、開催学校内、会館、企業等

開催団体：市内小中高等学校、町会、自治会、各種団体、企業等

(3) 活動内容

活動内容(ノーマリー教室のメニュー)は以下のとおりです。

○メニュー例

手話、点字、盲導犬、ガイドヘルプ、車椅子、高齢者疑似体験、介護ロボット体験、介護のしごと魅力発信教室(対象：小・中・高等学校)など

※詳細は、p4～ご参照ください。

(4) 実施方法

下記によってノーマリー教室を実施することが可能です。

実施の流れや詳細については、次ページをご参照ください。

社会福祉協議会主催ノーマリー教室

社会福祉協議会主催のノーマリー教室開催を希望する団体からの応募により、社会福祉協議会が希望調書を確認の上決定し、実施します。

自主ノーマリー教室

社会福祉協議会主催校とならなかった場合、自主開催によってノーマリー教室を開催する場合に、学校・団体等からのご相談に応じて実施します。

2. ノーマリー教室の流れ

募集・選定

1) 社会福祉協議会主催 ノーマリー教室

隔年にて、開催校を募集し、ノーマリー教室を実施しています。
選定された学校は、2年間継続してノーマリー教室を実施することができます。
主催校の募集は、募集年の2月～3月頃に実施します。
※団体、企業等の募集は毎年実施しております。

(1) ノーマリー教室を計画・依頼(学校、団体)

「ノーマリー教室開催依頼書」をメール、FAX、郵送のいずれかでお送りください。
開催日時、人数など必要事項をご記入下さい。

(2) 講師の調整等(社会福祉協議会)

「ノーマリー教室開催依頼書」をもとに、社協にて講師の方と調整を行います。
※講師の都合上、希望の日時にならない場合もありますのでご了承下さい。
日程が決まり次第ご連絡いたします。

(3) 当日までの準備

【学校・団体】

- ① 体験学習の部屋の確保
- ② 体験学習のグループ分け
- ③ 社会福祉協議会との打ち合わせ

【社会福祉協議会】

- ・学校、団体との打ち合わせ(会場の確認、当日の進行について)
- ・講師の方々との打ち合わせ
- ・当日の参加者用資料の配布(ノーマリー教室の冊子、その他必要資料)
- ・講師交通費の支出等

(4) 当日

【学校・団体】

- ① 会場準備
- ② 講師が到着後、体験学習の最終打ち合わせを行う。
- ③ ノーマリー教室の進行

【社会福祉協議会】

- ・講師の送迎
- ・福祉用具の運搬
- ・ノーマリー教室の様子の写真撮影等

2) 自主ノーマリー教室

社会福祉協議会主催校とならなかった場合、自主開催によってノーマリー教室を開催する場合も、下記の手順に沿って、ノーマリー教室を実施することが可能です。

(1) ノーマリー教室を計画

「ノーマリー教室自主開催依頼書」(ホームページからもダウンロード可能)を開催予定日の約1か月前までにメール、FAX、郵送のいずれかでお送りください。※開催日時、人数など必要事項をご記入下さい。

(2) 講師との調整(社協)

「ノーマリー教室自主開催依頼書」をもとに、社協にて講師の方と調整を行い、日程が決まり次第ご連絡いたします。

※講師の都合上、希望の日時にならない場合もありますのでご了承下さい。

(3) その他の準備(学校、団体)

① 講師へ依頼文の送付

日程が決まり次第、講師の連絡先をお伝えしますので、講師と連絡調整の上、「講師依頼文」の送付、開催内容の詳細調整をお願いいたします。

② 交通費(謝礼)関係

講師交通費(謝礼)は学校の予算に合わせて設定していただいております。

また、講師に直接確認することも可能です。

※社会福祉協議会では3,000円～5,000円で設定しております。

※手話の体験学習を行う場合は、手話通訳者が講師に同行しますので、手話通訳者の分も交通費のお支払いをお願いします。(手話通訳:1人1時間あたり2,820円)

※盲導犬の講話を行う場合は、盲導犬ユーザーの送迎または、タクシー代のお支払いをお願いします。

③ 物品借用関係

社会福祉協議会より福祉機器を借用する場合は、事前に連絡をお願いいたします。

また、連絡後に指定の「借用書」(ホームページからもダウンロード可能)に記入し、借用日の1週間前までにご提出をお願いいたします。

・借用期間～最大1週間(期間厳守)

・貸出物品～車椅子/点字器/アイマスク/疑似体験セット(p8参照)

※車椅子を借りる場合は大きな車でお越しください。

(4) 当日

①講師が学校へ到着後、体験学習の会場確認等の最終打合せを行う。

②終了後、講師へ交通費(謝礼)を渡す。

(振込の場合は、振込み口座等講師へ確認の上、振込日・金額を講師へお伝えください。)

3. ノーマリー教室体験メニュー

体験メニュー① 手話

聴覚障害についての基本的な説明の後、動きで動物や物を当てるジェスチャーゲーム、「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」等の挨拶を学び、最終的には学校名、クラスなど自己紹介ができるように指導します。

(講師…聴覚障がい者1名/専任通訳者1名/通訳者2名程度)

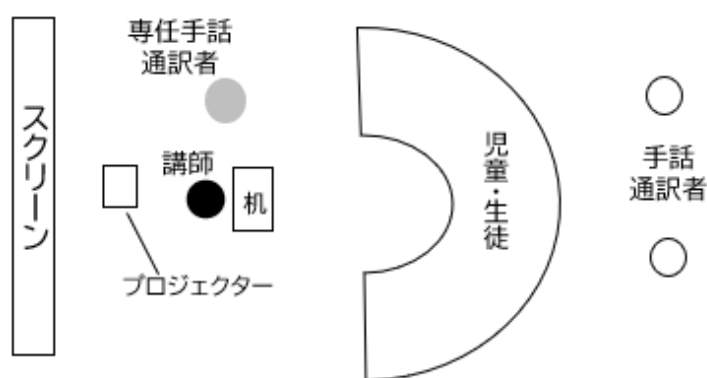
準備物

- ・パワーポイントを使える環境 (PC、プロジェクター、スクリーン)
- ・マイク (広い会場の場合)

時間

必要時間 45分～

会場図



体験の様子



体験メニュー② 点字

点字の歴史を学び、50音表を見ながら自分達の学校名・クラス・名前を打ちます。また、講師が参考資料として持参した点字のタイプライターや本を自由に児童・生徒の皆さんに触れてもらいます。

(点字講師5名程度 ※人数に応じて変動します)

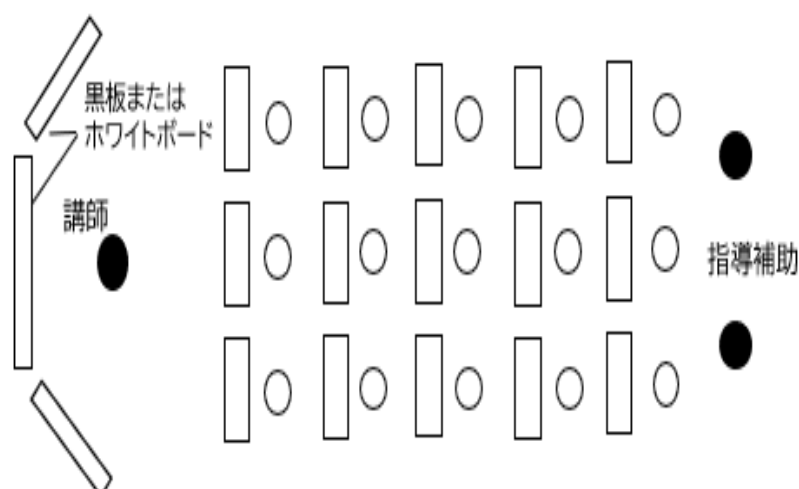
準備物

- ・点字機器 (社協で貸出し可能)
- ・黒板またはホワイトボード (磁石がつくもの)

時間

必要時間 45分～

会場図



体験の様子



体験メニュー③ 盲導犬

函館市内の盲導犬ユーザーから、視力障害についてのお話や「盲導犬ができるまで」等の盲導犬に関するお話の他、服従訓練を行います。その後、児童・生徒からの質疑応答を行います。また、盲導犬に触れることは出来ません。(講師1名、盲導犬1頭)

準備物

- ・イス
- ・長机

時間

必要時間 30分～

会場図



体験の様子



体験メニュー④ ガイドヘルプ

視覚障がい者についてのお話や安全に外出介助を行うための説明をします。また、相談に応じて、実際にアイマスクを装着し、2人1組になって教室内や廊下を歩く体験を行う事も可能です。その場合、事前に2人1組になる用意をお願いします。(1クラス～視覚障がい者1名/誘導指導者2～3名)

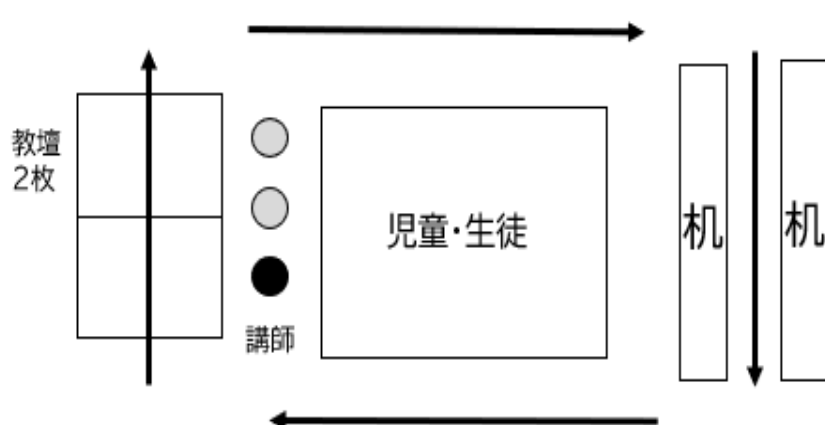
準備物

- ・アイマスク
- ・教壇
- ・長机

時間

必要時間 40分～ (体験人数による)

会場図



体験の様子



体験メニュー⑤ 車椅子

車椅子の部位説明の後、簡単な使い方を学びます。その後、2人1組になり、車椅子で教壇の上り下りを行います。季節や天候、人数によっては、階段を使うことや外に出て体験することも可能です。

(1~2クラス講師2名)

事前に2人1組になる用意をお願いします。

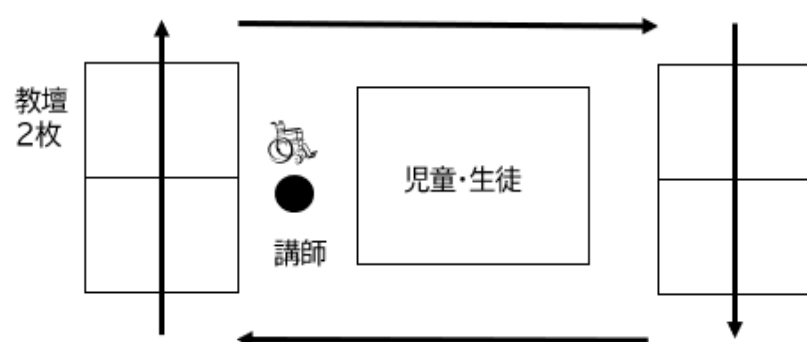
準備物

- ・車椅子(5台程度 ※人数・実施方法による)
- ・教壇(高さ10~15cm程度、車いすが回転できる広さ)
- ・ジャージ等の動きやすい服装

時間

必要時間 40分~ (体験人数による)

会場図



体験の様子



体験メニュー⑥ 高齢者疑似体験

体にひじやひざが曲がらなくなるようなサポーターや、手足首におもりをつけ、視界が見えづらくなるゴーグルなどを装着し、廊下や階段を歩く。主に高齢者や片麻痺体験となる。

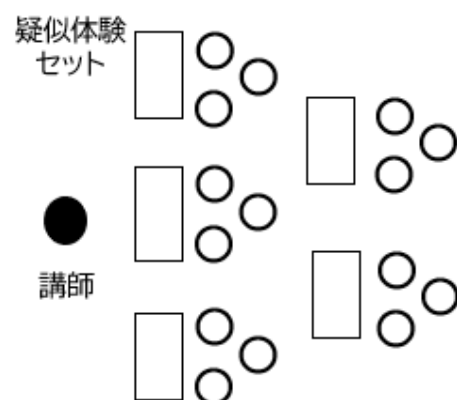
準備物

- ・高齢者疑似体験セット

時間

必要時間 45分~ (体験人数による)

会場図



体験の様子



体験メニュー⑦ 介護ロボット体験

介護についてや介護ロボットの活用方法などのお話を聞きながら、椅子やベッドへの移乗や室内外の移動、見守り、コミュニケーション、生活等を支援する介護ロボットを実際に見て、体験する。

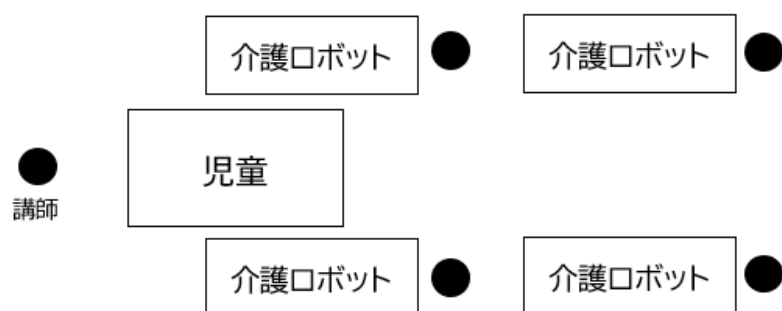
準備物

- ・長机(4~5台程度)
- ・ジャージ等の動きやすい服装
- ・広い会場

時間

必要時間 45分~ (体験人数による)

会場図



体験の様子



体験メニュー⑧ 介護のしごとと魅力発信教室

実際に介護施設等で働いている講師から、高齢者への接し方や高齢者の心身の特徴等の講話や、内容によっては、移乗等の実演などを用い、介護の仕事の魅力を伝える。内容については、学校と講師と相談しながら実施します。

準備物

- 一例) ・椅子
- ・ジャージ等の動きやすい服装
 - ・内容によっては、ベッドのようなもの(起き上がりの実演をする際に使用)

時間

必要時間 40分~

会場図

一例)



体験の様子



福祉機器の貸し出し

学校、町会、ボランティア団体等が各種研修会や体験学習を実施するにあたり、必要とする車椅子等の福祉機器を無料で貸し出しております。貸し出し期間は1週間です。
他の学校や団体などへ貸与している場合がありますので、お電話にてご確認をお願いいたします。



点字器



車いす



アイマスク



高齢者疑似体験セット

申請書は社会福祉協議会HPからもダウンロード可能です。
申請書は、貸与日の1週間前までにご提出願います。

相談

申請

貸し出し

返却

函館市社会福祉協議会の

広報

函館市社会福祉協議会では、ノーマリー教室の様子や情報を広報誌、HP、SNS等で発信しています。
下記QRコードから閲覧可能です。ぜひご覧ください。



ノーマラーゼーション推進事業機関誌
「ふれあい函館」



社協だより



【 X 】



【 HP 】

お問い合わせ先

函館市社会福祉協議会 事業課 地域福祉係
函館市若松町33番6号 函館市総合福祉センター（あいよる21）3階
TEL：23-2226 FAX：23-2224
HP：<http://www.hakodatesyakyo.net>
メール：chiiki@hakodatesyakyo.net